

天文観光・ヴァーチャル観光

Astro-tourism and Virtual tourism



尾久土 正己 OKYUDO Masami

教授
Professor

専門領域 Areas of expertise

■天文観光
Astro-tourism

■ヴァーチャル・リアリティ
Virtual Reality

主な担当科目 Subjects

■専門演習 II

■ヴァーチャル観光

■地域と自然のストーリー



研究活動 Research

□天文観光

近い将来始まる宇宙旅行だけでなく、山や海で美しい星空や流星群を眺めたりしたり、プラネタリウムを鑑賞したり、皆既日食やオーロラを観察するために海外旅行したりすることも広い意味の宇宙観光であり「天文観光」(アストロツーリズム)と呼ばれ近年注目されています。本研究室では、天文観光の理論研究だけでなく、和歌山県紀美野町や鹿児島県与論町など各地での取り組みを支援するなどの実践も行っています。

□ヴァーチャル観光

これまでドームスクリーンに星空だけを投影する装置だったプラネタリウムは、我々の研究によってあらゆる風景をその場にいるかのような映像として投影できるようになり、バーチャルな観光が可能になってきました。東京オリンピックでは、ドームスクリーンが持つ圧倒的な臨場感でスポーツを観戦することに挑戦しており、尾久土はオリンピック組織委員会のアドバイザーに就任しています。地球温暖化や昨今の感染症パンデミックで大勢の人が長距離を移動する観光に逆風が吹く中、「移動(旅行)しない観光」は新しい観光様式として今後益々その重要性が増すに違いありません。

□共同研究

天文観光では紀美野町、与論町、加太観光協会、阪急交通社らと、ヴァーチャル観光では関西テレビ放送、コニカミノルタプラネタリウム、キヤノン、阪急交通社、オリンピック組織委員会、飯田市らと共同で研究を行っています。



世界一美しいと言われる
ナミビア共和国ナミブ砂漠での星空

ゼミ活動 Education

□毎週のゼミでは、プレゼンテーションの鍛錬も兼ねて、持ち回りで研究の報告をします。他のメンバーの研究活動を見て学び、また報告に対する質疑応答を通じて学びます。

□毎週のゼミ以外に、天文観光分野では、スターパーティーを運営するための天体望遠鏡の操作方法や、基礎的な天文学の知識を持ってガイドできる資格「星空案内人」(星のソムリエ)の資格取得を目指します。また、ヴァーチャル観光分野では、VRカメラの撮影や編集の基礎的な知識を習得します。

□2021年度は特に、星空を使った新たな観光開発を目指す美しいサンゴ礁の島「与論島」での天文観光の実習や、オリンピックでの臨場感ライブ・ビューイングに向けての準備や本番での撮影実習などを予定しています。



鹿児島県与論町(与論島)で
ゼミの学生たちと現地実習



オリンピックのスポーツライミング
会場でのテストマッチにゼミ生と参加

卒業論文/修士論文テーマ Thesis

- 星空という観光資源をめぐる同居する多様なアイデンティティ
- 宇宙旅行予定者の意識
- 萌芽的な星空ツアーに関する考察
- 星空イベント・星空ツアーにおける地域別特徴分析
- 公開天文台の気象的評価
- プラネタリウム解説の特徴分析